

# 大分-カメルーン共和国友好協会の取組と 中小企業のカメルーン進出への挑戦

大分-カメルーン共和国友好協会

株式会社TMT.Japan

横山 朋樹

# 自己紹介

- 名前:横山 朋樹 (よこやま ともき)
- 生年月日:1971年9月25日(50歳)
- 本業:(株)三和プレス(鉄工所)を経営
- 2012年にTMT.Japanを設立
- 2014年:JICA事業～案件化調査～採択
- 2016年:JICA事業～普及実証事業～採択
- 2017年:友好協会設立
- 2021年:在外公館長表彰受賞

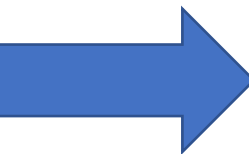
# カメルーンビジネスの魅力

## 日本の中小企業

- 技術系
  - 開発系
  - 製造業
  - 食品
  - サービス
  - 技術支援
  - 包装資材
  - 原料系
  - リサイクル
  - 環境
- etc...

業種を問わず

**等しくチャンス**  
を見出せる！！



自社の得意分野を進出国でどのように活用できるかをアレンジすることができるか

# 中小企業のカメルーン進出における課題

- そもそも、カメルーンとは
  - ⇒ 駐日カメルーン共和国大使館と友好協会がサポートすることでカメルーンの情報を得ることができる
- 案件形成における前例が少ない
  - ⇒ カメルーンへ進出している日本企業は11社（外務省HPより）
- カウンターパートの発掘と連携協議
  - ⇒ 現地渡航や、各種サポートができる日本法人をカメルーンに設立
- 中小企業向け支援スキームが殆どない
  - ⇒ 政府開発援助（ODA）などのスキームでの進出が難しい

# 大分-カメルーン共和国友好協会

- 複数の企業が参加する協会による発言力の担保  
⇒カメルーンとご縁の深い大分県でも企業1社では相手にされない
- 目的:カメルーンと日本の経済交流を促進
- ビジネスミーティングの開催(過去3回実施)
- カメルーン視察旅行の実施(2017年)
- 友好協会会員企業の現地視察支援



**会員企業が2020年にJICA事業に採択**

# 大分ーカメルーン友好協会



ビジネスミーティング



TICAD7カメルーン政府団長面談



現地調査の様子(商業大臣面談)



大分のフェスティバルに参加

## 取組んでいる事業①～小水力発電事業～

- 大分県は再生可能エネルギー自給率全国上位  
⇒大分の中小企業チームで小水力発電所の建設が可能
- 2021年 大分県支援によるFS調査を実施  
⇒サイト候補地域、カメルーン側連携機関との協議などを実施  
サイト地域からの明確な要望がある
- 中小企業ODAスキーム化を目指して、大分県と連携した事業案件化に取り組む  
⇒大分県エネルギー産業企業会内に、海外WGが設置される

**前例を作るべく奮闘中**

# 取組んでいる事業①～小水力発電事業～



メソンド市長面談



AERの調査



FACOの調査



## 取組んでいる事業② ～コーヒー輸入～

- カメルーンの商品を日本へ
  - ⇒日本→カメルーン、カメルーン→日本の双方向事業
- 2020年 クラウドファンディングを実施
  - ⇒目標の144%のご支援をいただく
- 2021年 15トンの生豆をテスト輸入
  - ⇒カメルーンコーヒーは日本ではほぼ輸入されていない
  - ⇒味はとても好評だったが、産地技術支援が必要
- 産地技術支援案件形成を実施中
  - ⇒豆の付加価値向上と、農家さん保護(フェアトレードの実現)

# 取組んでいる事業②～コーヒー輸入～



バフサム中央農業組合訪問



生豆加工設備視察



大分に到着したコーヒーの生豆



大分市内での販売の様子

# 今、カメルーン進出がとても有利な理由

- ①カメルーン政府は日本企業の進出による雇用の創出に期待している
- ②駐日カメルーン共和国大使館と友好協会の支援が受けられる
  - ⇒現地に行く前に官・民双方の視点による情報を得ることが可能
- ③カメルーンにおける拠点が存在している
  - ⇒日本国大使館、JICAカメルーン事務所、TMT.CameroonSarl

**カメルーン進出は今がチャンス！**

**ご清聴、ありがとうございました**